

目次

I 2019年度 執行一覧

2019年度	井上円了記念助成	執行一覧	7
--------	----------	------	---

II 2019年度 個人研究 研究報告書

【大学院学生】

氏名	表題	頁数
1) 程 楽	光緒新政期における辺境地域の鉄道政策研究	13
2) 荻 翔一	民団系のエスニック・チャーチの組織的変容 －在日大韓基督教会を事例に－	16
3) 沓澤 岳	トレーニングによるセルフコントロール向上のメカニズムの検討	19
4) 陸 英善	ポジティブ感情調節に文化的価値観が及ぼす影響	22
5) 滝口 雄太	他者に対する疑わしさへのアプローチ －真偽性判断における処理プロセスに及ぼす影響－	24
6) 鈴木 将	カビ毒ニバレノールの簡易検出法を目指して ～既知酵素と新規酵素の応用利用～	27
7) 浅海 裕一郎	腫瘍細胞血管外漏出アッセイマイクロ流体デバイスの開発	31
8) 伊藤 翼	好塩性セルラーゼ生産菌の探索と諸性質解析	34
9) 鈴木 一也	喫煙が活性酸素及び脳血管内皮機能に及ぼす影響	37
10) 塩原 拓実	UV-LEDを活用した浄化槽における新規消毒方法の開発	40
11) 船越 智瑛	粗石魚道の粗度形状やその設置方法の違いによる 流れの変化と魚の行動特性について	44
12) 宋 紫龍	旅行情報ビッグデータを活用した訪日外国人の旅行実態把握 に関する研究	47
13) 牧野 陽介	発展途上国における硝化処理プロセスの構築と菌叢解析	53
14) 加藤 有美恵	金属ナノ粒子によるメダカ腸内細菌叢と免疫機能に対する影響	辞退
15) 三善 英彦	放射線抵抗性細菌デिनコッカス・ラジオデュランスの DNA修復機構の正確性に関する比較ゲノム解析	56
16) 宮下 千穂	運動依存的な骨格筋由来エクソソームの動的変化 及びその生理的意義	59
17) 田巻 太志	<i>Graptopetalum paraguayense</i> の植物体再生における植物ホルモンの影響	62
18) 片野 亘	心臓形態形成における転写因子Sallの機能解析	65
19) 是恒 貴宏	高濃度セシウム耐性菌マイクロバクテリウム sp. TS-1株の セシウム耐性機構の解明	68

20)	佐竹 諒子	トマト病害葉かび病菌とすすかび病菌の変異同定と パイロシーケンス法による診断系の構築	72
21)	田辺 岳海	神経細胞における酸化ストレスに応答した エクソソーム分泌量増加メカニズムの解明	76
22)	石内 友里	骨格筋分泌因子による皮膚機能制御の解明	79
23)	進藤 真登	ストリゴラクトンによって制御される葉身屈曲メカニズムの解明	82
24)	安次富 萌	雄性ホルモンによって雌ティラピアで「脳の性転換」が誘導され る時、JAK-STAT細胞内シグナル伝達経路が働いているか？	85
25)	伊藤 翔太郎	利根川水系におけるチャネルキャットフィッシュの 行動特性の解明	88
26)	川村 颯	房室管形成における <i>Pitx2</i> の新規機能の解明	91
27)	中島 徹哉	ラグビー選手におけるISAK法を用いた体格の評価と フィジカルフィットネスの関連性についての研究	94
28)	國重 智宏	長期入院精神障害者の地域移行支援における 相談支援専門員の「かかわり」	97
29)	田沼 友理	Synthesis and Characterisation of Magnetic Endohedral Fullerenes	100
30)	SINDHU C PILLAI	PLGA-loaded Curcumin Bioperine Nanoparticles for Atherosclerotic activity	104
31)	中田 愛子	心理療法における認知的特徴測定ツール 「失自然社会感覚尺度」の開発	辞退
32)	河野 翔	食品由来トコトリエノールの新規抗中皮腫素材としての可能性 -低酸素誘導性因子;HIF,オートファジー,小胞体ストレスを標的として-	119
33)	芹澤 奈保	疲労骨折の一次予防を目的としたビタミンB2,ビタミンE 併用摂取が血中ホモシステイン濃度に及ぼす影響	123
34)	伏木 桃花	MTHFR C677T一塩基多型による抗がん剤感受性の違いに 基づいたビタミンE誘導体の新規抗中皮腫効果の検討	126
35)	藤本 直樹	バイオジェニックスを利用した骨質改善の検討	129
36)	山本 かおり	地域在住高齢者における認知機能に対する食事と生活習慣の検 討	133
【校友】			
1)	上村 正裕	日本古代王権と官人社会	136
2)	竹内 洋介	中国における墓誌の変容と伝播	139
3)	井出 弘毅	在日コリアンの自己表象に関する研究 -書かれた／語られた個人史と社会史	142
4)	新井田 恵美	経済状況が配偶行動へ与える影響 -生活史の観点からの検討-	145
5)	金子 迪大	幸せとは何か: 幸せ量に対する反論としての幸せ時間パターン	148
6)	河合 純	「成人期における遅発性発達障害の特徴と心理社会的治療の効果 の検証」精神科リワークプログラムを実施している医療機関調査から	151

【専任教員】

1)	松浦 和也	アリストテレス「神学」の形成と変貌	155
2)	高野 聡子	知的障害特別支援学校の児童生徒数の増加に関する研究 :保護者の意識の変化とその特性	158
3)	三宅 和子	日本にルーツをもつ海外家庭の日本語保持・継承の 実践リアリティ:通時的・共時的研究	161
4)	島西 智輝	近現代日本の石炭産業における労働安全衛生の歴史的展開	164
5)	中川 利香	マレーシアにおける中小企業金融の効果に関する分析	168
6)	幸田 浩文	日本の売薬地域における長寿売薬企業の地域経営圏の 確立に関する文献・実態調査研究	170
7)	高橋 典史	ベトナム系ニューカマー支援の拠点としての宗教組織の役割 に関する実証的研究	173
8)	佐藤 亜樹	ソーシャルワーク教育が学生の共感性に与える影響 に関する研究	176
9)	市川 顕	ユンカー欧州委員会におけるEUエネルギー同盟の政治過程	182
10)	伊藤 大将	共働き世帯の夫妻の家事・育児時間の規定要因に関する研究	184
11)	新藤 康弘	リアルタイム温度計測機能を有する複数関節対応型 温熱リハビリテーション装置の開発	187
12)	吉野 隆	放散虫の進化系列に見られる骨格構造の変遷を 幾何学的に表現する方法	190
13)	山崎 文明	作用素平均の不変部分空間問題と量子情報理論への 応用の研究	193
14)	李 沁潼	富栄養化と気候変動のキーポイント?好気性メタン 酸化脱窒反応に関する微生物動態解明	196
15)	井ノ口 繭	なぜ塩類細胞は濾胞構造を形成するのか -トラザメ胚塩類細胞の機能形態学的研究	199
16)	児島 伸彦	ドレブリン欠損マウスを用いた発達期依存的な長期抑圧の 発現抑制メカニズムの解明	202
17)	鈴木 哲郎	受動的屈伸運動が膝関節軟骨、滑膜・関節包に及ぼす影響	205
18)	嶺 也守寛	スヌーズレンにおける環境(器材)・利用者・介護者の 三項関係のバランスに関する研究	208
19)	関屋 光泰	「子ども食堂」の担い手の支援と活動を促進する 研修プログラム開発に向けた対話型研究	211
20)	重田 史絵	地域包括ケアシステムにおける福祉施設のサービスの質向上 につなげる評価軸体系の構築	215
21)	阿久津 純恵	日英パラグラフライティングによる日本語を母語とする 英語学習者の英語力養成	218
22)	浦 剣	定量的リスク評価による、カギを介するノロウイルスの 主要感染経路の追究	222
23)	富田 亜紀	デジタル化された事業に係る「物理的プレゼンス」 要件の明確化	226
24)	加知 範康	非居住地域へのグリーンインフラ導入による 都市域縮退の実現可能性	229
25)	曹 巍	Computational studies of transmembrane helix kinks: their roles in protein structures, and development of their structural and functional database	232
26)	鈴木 政史	酵素を架橋剤とした強磁性ナノ粒子のクラスター構造と その酵素反応の解析	235

Ⅲ2019年度 共同研究 研究報告書

【専任教員】

1)	橋本 泰元	南アジアにおける思想的・文化的融合の動態的研究 —バクティ思想を中心として	240
2)	大原 亨	ビジネスモデルの変革プロセスの追跡	244
3)	宇都宮 京子	世紀転換期の科学批判とマックス・ヴェーバー —統治する理性の行方	247
4)	カーリン オマール	Determining the more effective L2 listening teaching methodology; extensive listening vs intensive listening	251
5)	北脇 秀敏	熱帯地域における廃棄物適正管理を通じた媒介動物感染症のリス ク低減に関する研究	254
6)	井坂 和一	特殊菌を利用した1,4-ジオキサン処理における微量元素種と最低 濃度条件の解明	257
7)	吉田 泰彦	セラノスティクスナノ薬剤評価マイクロデバイスの開発	260
8)	イム ウンス	居住環境におけるマイクロプラスチック・ビーズ問題の 調査分析法の確立と全国実態調査	263
9)	及川 康	次世代の「日本型防災」の再構築に向けた防災主体間の 関係構造分析	266
10)	土田 賢省	AIを用いた誘導ブロックの自動レイアウト	269
11)	渡辺 裕美	定期巡回随時対応訪問介護看護の推進 自治体の民間事業者へ対するコントロールと支援	273
12)	花木 啓祐	コンパクトな構造を持つ都市とIoT導入都市がもたらす 生活利便性と環境特性比較解析	275
13)	眞子 岳	ミャンマー連邦共和国インレー湖の環境保全を目指した 水質形成機構の解明	279

【海外協定校との共同研究】

1)	矢野 友啓	イヌメラノーマの新規予防治療法の構築に関する研究	282
----	-------	--------------------------	-----

Ⅳ2019年度 共同研究 研究所プロジェクト 研究報告書

【新規】

1)	千葉 正史	東洋大学に所蔵される中国語諸史資料の データベース構築と活用開発	288
2)	渡辺 章悟	初期大乘仏教の成立と展開—テキスト・ことば・思想—	292
3)	森田 明美	被災地における子どもと子育て家庭の居場所づくりに関する 継続的な取り組み支援研究 —当事者参加型支援モデルを手掛かりにして	294
4)	山本 須美子	首都圏在住アジア系の若者にみるトランスナショナリズム に関する比較研究	298
5)	後藤 武秀	珠江デルタ地帯における民事法統一化傾向の研究	301
6)	蒲生(西谷)美香	新規球状ナノ炭素材料「マリモカーボン」の合成と用途探索 —エネルギー・環境・生体分野への応用を目指して—	304

【継続2年目】

1)	宮越 雄一	慢性炎症により惹起される生活習慣病予防に関する研究	310
----	-------	---------------------------	-----

【継続3年目】

1)	鈴木 道也	グローバル時代の歴史学——社会史・文化史を再考する	313
2)	伊吹 敦	東アジアにおける仏教思想の成立と展開、 並びにその意義の解明	316
3)	子島 進	在日ムスリムによる多文化共生社会構築の試み—インドネシア 人、トルコ人、パキスタン人の宗教ネットワークを事例に	322